

令和6年度まちづくり懇談会 豊平地区

日時 令和6年10月8日(火)
午後7時00分～午後8時30分
場所 豊平地区コミュニティセンター

財政について

意見要旨	説明・回答要旨
<p>単純に考えて、行政は税金から予算を立てていて、その税金は、前年度のそれぞれの所得から計算されるので、その年度の収入はほぼ予想がついて、その中で予算をたてると思うが、それで赤字になるのはどういうことなのか。</p>	<p>(市長) 茅野市は、見込める金額に対して、やらなければならない事業が多い。今までの長い間に様々な事業をしてきている。それが積み重なって財政の硬直化につながっている。</p> <p>(財政課長) 茅野市を運営していくために人件費や社会保障に関わる経費などどうしても支出しなければいけない事業がある。出るお金ばかりではなく入ってくるお金、市は税金という形で皆様方の貴重なお金を入れていただいている。この税金も皆様が納めいただく市税だけではなくて、国あるいは県から徴収したものが様々な名目に入ってくる。令和6年度は約300億円の予算を組んで、それに対して入ってくるお金は、288億円の見込み。単純に差し引きすると約12億超足りなくなる予想で、足りないと市民の生活に必要な経費を支出することができなくなってしまうので、基金を取り崩して支出する形で基金を持っている。基金に頼らないように収入を上げるために努力もしているが、現実的に収支均衡にはならない状態が続いている。今後も公共施設の維持、高齢化に伴って支出が増えていく。</p> <p>市民の皆さんに我慢だけ強いるというような運営は考えていない。今あるサービスは維持しながらあるいは今後生まれてくるであろう支出が必要なニーズに対してしっかりと予算が確保できるまちを目指している。財政の単年度の収支が赤字といっても、決して、すぐに破綻するような危機的状況というわけではなく、そういう事態にならないために、今から見直し等をして未来に繋がるような運営をしているというのが財政の現実。</p>
<p>令和5年度の公会計、一般、全体、建設の3つの会計があると思うが、この会計のプライマリーバランスが黒字になっているのか、そしてその金額がわかれば、3つの会計の報告をお願いしたい。</p>	<p>(財政課長) すべての会計の資料を今日は持ち合わせていないが、一般会計は決算で約340億円。特に悪化している会計は今のところない。基金は減っておらず、利息分が少し増えた状況。</p>

財政が大変だと言っていたが、令和4年までは17億の黒字。ただ税の無駄遣いをしていないということではなく、我慢するところはしなければいけない。今、行財政改革は待たなしということで、当初、基金も42.5億円という見込みだが、令和5年度の結果として基金が増えたのか。

(財政課長)
取り崩しはしていないので、減ってはいない。利息分は増えている。

会計の内容を市民の皆さんにもっとわかりやすく細かく示していただきたい。財政の「待たなし」をずっと言い続けるのか。財政をどのようにすれば待たなしでなくなるのかを目標として示していただきたい。まず目標を作り、そこにみんなで向かっていくことが大事だと思う。

(副市長)
プライマリーバランスについては、現在、永明小中学校の建築やその前のリサイクルセンターの建築などがあって、借り入れをしているので、借金残高は以前より増えているような状態。現在は大型事業が動いている最中なのでプライマリーバランスが赤字になっている部分があるが、例えば起債残高を設定したり、借金を減らすなど大きな目標を示していく中で行財政改革をしていかなければいけないと思っている。

(市長)
今年は何の地区へ行っても活発に意見が出てくる。我々も皆さんにとって聞きたくないような内容も含めて、忌憚なくいろんな情報を出しており、それに対して冷静に考えて、いろんな意見を出してくれている。
学校の問題については、豊平にしても私が住んでる米沢にしても、いくつかの学校に分かれている地域。私も、保育園は本町へ行って、小学校は米沢へ行き、中学校はまた永明へ入った、地区というのはすごく大事なものである一方で、あまり地区にこだわりすぎると、いろいろ見えなくなるという部分もあって、そういうことを各地区で真剣に考え始めていただいていると思っている。これからも我々も情報をできるだけしっかりと出していきながら、みんなで明るい未来の茅野市にしていきたいと思っている。よろしく願いしたい。

野焼きについて

意見要旨	説明・回答要旨
<p>広報ちのくに野焼きは原則禁止という案内が出た。私は田畑で草を刈って、枯れたら燃やすことを日常の農業生活としてやってきた。ところが、9月に通報があったようで警察官が来て、住所や名前等を聞かれ、まるで犯罪者のような扱いを受けた。野焼きが原則禁止ということはわかるが、今まで毎年行ってきた必要な農作業なので、非常に悲しい。周りの環境が変わったからといって、私もこれまでの生活を変えなければいけないのか。</p>	<p>(市長) 警察も決して犯罪者扱いをする意図はなかったと思うし、通報があると警察は動かざるをえなかったのだろうと思う。実際、若い世代で地域の古くからのやり方を知らない人が豊平地区に限らず多くいて、そうしたメールがたくさん来る。「洗濯物に臭いがつくので止めさせてくれ」、「条例を作れ」というものまで来ている。実際、様々なご意見があることを我々も承知していて、なるべく従来通りの形をお願いできないかと思うが、どうしても我慢をお願いする場面が出てくる。警察には、もう少し配慮のある対応をするようお願いする。</p> <p>(市民環境部長) 田畑の土手草等々についてはどこで燃やしてもいいと法律で決まっているが、市長が申し上げたように近隣の住民の皆さんの生活もあるので、制限をさせていただいている。</p> <p>(美サイクルセンター長) 草については、ご家庭で発生し、処分できないものを清掃センターへ持ち込まれる方もいる。もし、事業として農業をやられている場合、処分には手数料をいただくことになるのでご承知おきいただきたい。</p>

小中一貫校について

意見要旨	説明・回答要旨
<p>少子化で小学生、中学生も当然少なくなるが、今市内に9校ある。そんな中、4月に永明小中学校が施設一体型で開校した。小、中で時間割りが違うので苦勞することも多いかと思うが、そのことを踏まえて、今後の学校のあり方はどのようにすることが最適と思うか、感覚的でよいので教えてほしい。</p>	<p>(教育長) 皆さんのおかげで新しい校舎ができて感謝する。授業時間だが、中学校の時間割りを修正し時間を統一した。今まで施設分離型の小中一貫校だったので、意識しないと小中の交流ができなかったが、同じ建物の中で自然に交流ができている。永明小中学校では今までになかった子どもの姿が現れてきている。新しい小中一貫教育のあり方として、1つのモデルにしていきたいと思っている。</p>

公共交通について

意見要旨	説明・回答要旨
<p>「のらぎあ」は便利で評判が良いが、10月1日に朝永明小学校へ向かうバスが1本廃止になった。ピアみどり線は鬼場に止まらないので早朝の登校時に利用できるよう12月1日までに鬼場に停車していただくように要望する。理科大線があるが、定期が使用できないので利用できるようにしていただきたい。</p>	<p>(企画部長) 路線バスが1本減便になったことは、今年4月からの働き方改革の関係と、バス運転手が少なくなってきたことに起因しており、市としては減便しないようお願いしたが、運行事業者の判断により減便になった。ピアみどり線の鬼場停車については、電車の時間に合わせた形で運行しているので、停留の時間の調整を踏まえながら運行事業者と協議していきたいと考える。ただ、12月1日からというのは、バスの時刻変更の申請許認可の関係上困難なので検討調整の時間をいただきたいと思う。なお、理科大線については、理科大が運営しているので定期が使用できないようになっている。</p>
<p>「のらぎあ」と同様のバスが諏訪市で新しく始まる。茅野市への乗り入れを協議されたのかどうか。一緒にやる話はあったのか。これから先はどうなるのか。</p>	<p>(市長) 諏訪市へお話をさせていただいたが、諏訪市の判断で違うシステムになっている状況。乗り入れは難しい</p> <p>(政策監) 隣の市町村との水平補完する、いわゆる足りないものを補い合うということに今後も取り組んでいきたい。</p> <p>過日、知事や副知事等が意見交換を行う場で、すべての市に市民会館や運動場が必要という時代では少しずつ無くなっており、広域でそれぞれが役割分担して、施設を持ち合う社会を作っていくべきという意見が出た。交通システムについても、近隣市町村と連携を取りながら議論を行う予定である。</p>

区の負担軽減について

意見要旨	説明・回答要旨
<p>人口が減るとするのは結局、この地区に帰ってくるかが大きな問題で、大学から35歳までの人が、この地区に家を建てるかどうかに尽きると思う。</p> <p>人生の半分くらいを東京で過ごし、地元へ帰ってきた立場で申し上げますと、茅野市は結構資源がある方だと思う。そういう中で、茅野市へ帰ってきたいと思ったり、理科大から地元の会社に就職したいかを把握して、人口対策に生かしていければと思う。</p> <p>また、地域に縁のない方々が家を建てたり区に入ってくれれば良いと思うが、区費や作業などもある中で、果たして区費を払って、作業に参加して、その人たちに何のメリットがあるのかなと思うと、区に入りにくい人も結構多いのかと思う。もう少し区の仕事やいろいろな負担をなくして、もっと入りやすくすれば、仲間もできて人口流出対策になると思う。</p>	<p>(市長)</p> <p>理科大もここで学長が変わった。前の信州大学の学長の濱田さんに来ていただいている。県内外のネットワークも非常に持っていて、今積極的に地域の企業と色々な事業を起こしてくれている。今年4月に就職した学生はエプソンへ13名入ることができ、これは大学開学以来一番多い人数。そういった実績を積み重ねていくことによって、地元の子どもたちが理科大を目指すようになってくれば良いと思う。</p> <p>区の問題については、現在モデル区というのを作り、デジタル回覧版の試行や入区の条件の再検討などを行っている。それ以外にも、サラリーマンの方でも長ができる体制を作ろうとしている区・財産区がある。そのシステムを作り上げるには区内の皆様方のご理解も必要で、大変だと思うが、努力をして形を作ってきている区も実際ある。区の運営の仕方に対して市はいろいろと言えないので、参考事例集みたいなものを作り、それを参考に、それぞれの区の形を作っていただけのような取組を進めている。</p>

区のWi-Fi設置について

意見要旨	説明・回答要旨
<p>公民館にWi-Fiを設置して欲しい。各公民館にWi-Fiを設置していただけるといろんなことができる。</p>	<p>(DX推進課長) 公共施設のフリーWi-Fiの設置をしていた事業者との契約が終わるためここで見直しをした。Wi-Fi設置にはかなりお金がかかる一方で、市民の皆さんそれぞれのインターネットの通信環境は以前より向上しているため、今の公共施設のWi-Fiを止めていく方向に進んでいる。地域の皆さんが様々な活動で使っていただくようなときは貸し出しができるようなポケットWi-Fiを整備していく予定である。</p>

市役所前の道路について

意見要旨	説明・回答要旨
<p>市役所前の道路がガタガタする。茅野市のメイン道路なのに酷いなと思っている。これは、縦割り行政の弊害かなとも感じる。今の状況を見ていると、いろいろな工事を繰り返し行っていると感じるので、一度で工事ができれば綺麗にアスファルトを引き直せると思う。効率の良い道路工事をしていただきたい。</p>	<p>(建設企画課長) 県が、無電柱化事業として何回も掘ったり埋めたりしているが、電線を入れるだけではなく、水道、下水道を移す工事もしている。数回の工事になり本当に申し訳ない。県も令和8年度の完成を目指しているのもう少し我慢いただきたい。なお、現在工事している箇所から市役所東までが第2工事予定となっているのでご理解いただきたい。</p>

まちづくり懇談会について

意見要旨	説明・回答要旨
<p>たくさんの方から意見が出ることはそれだけ関心を持っている表れかなと思う。今まで茅野市が進めてきたまちづくりが少しずつ形になってきていると思う。今日はまちづくり懇談会で、市民と行政とのやりとりが主だったが、やはり市民同士でどうしていくかということもコミュニティ運営協議会等を通じて話をしていくことが非常に重要だと思う。今日出た意見もまた市民同士で話をして、また行政と話をする、そんなことが繰り返されていけば良いまちづくりになるのではないかなと思う。</p>	<p>(市長) 今年は何の地区へ行っても活発に意見が出てくる。我々も皆さんにとって聞きたくないような内容も含めて、忌憚なくいろんな情報を出しており、それに対して冷静に考えて、いろんな意見を出してくれている。地区はとても大事なものである一方で、あまり地区にこだわりすぎると、いろいろなものが見えなくなるという部分もあって、そういうことを各地区で真剣に考え始めていただいていると思っている。これからも情報をできるだけ発信していきたい。 明るく未来の茅野市にするために、みんなの良い形を求めていければと思っている。</p>